

たかさう 連携だより

2024年発行
第215号
12月号



地域連携症例検討会

内分泌代謝内科・乳腺内分泌外科の
診断と治療の連携 2～3

内分泌代謝内科部長 淡沢 信行
乳腺内分泌外科部長 高他 大輔

診療科紹介 消化器内科

消化器内科部長 長沼 篤 4

看護学校だより

高崎総合医療センター附属高崎看護学校 第53期生 石田 琥太郎 5

リハビリテーション室だより 6

臨床検査科だより 7

特定行為研修について/リレー・フォー・ライフ・ジャパン2024ぐんま 8

病院エントランスのご案内 9

医師紹介コーナー 10

地域医療連携登録医のご紹介 11

セカンドオピニオンのご案内 12～13

外来診療担当表 14～15

院長閑話 16

リレー・フォー・
ライフ・ジャパン
2024
ぐんま

撮影：患者サポートセンター 須賀 麻子

●地域医療支援病院 ●がん診療連携拠点病院

独立行政法人国立病院機構
高崎総合医療センター



〒370-0829 群馬県高崎市高松町36

代表 (TEL) 027-322-5901

URL <https://takasaki.hosp.go.jp/>

地域医療支援・連携センター(医療機関専用ダイヤル)

(TEL) 027-322-5835

(FAX) 027-322-5925

【理念】

患者さんから信頼される病院を目指します

【基本方針】

- 常に患者さん本位の医療を心がけます
- 研鑽に励み、安全で良質な医療を提供します
- 医療連携を積極的に推進し、地域医療に貢献します
- 良き医療従事者の育成に努めます
- 臨床研究を推進します
- 健全な病院経営を行います

【看護の理念】

人間の尊厳を大切に、専門的な知識、技術を持ち、心のかもった看護を提供します

【患者さんの権利を守ります】

- 誰でも良質で安全な医療を受ける権利があります
- 患者さんの人格や価値観が尊重され、医療提供者との相互協力のもとで医療を受ける権利があります
- 病気、治療等について、十分な説明を受ける権利があります
- 他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります
- 病気等について十分な説明を受けたうえで、自分の意志で検査や治療方法を選択したり、他の医療機関を選択する権利があります
- 医療情報に関する個人のプライバシーが守られる権利があります

地域連携 症例検討会

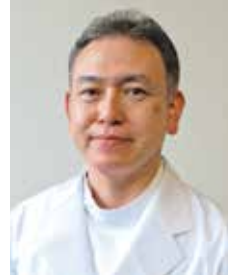
内分泌代謝内科・ 乳腺内分泌外科領域疾患の 診断と治療の連携



座長
吉田 崇 先生
(高崎乳腺外科クリニック)

内分泌代謝内科部長
渋谷 信行
(左)

乳腺内分泌外科部長
高他 大輔
(右)



内分泌代謝内科



第49回地域連携症例検討会では、乳癌に対する免疫チェックポイント阻害薬による治療について、および治療中に発症した免疫関連有害事象の中で発症頻度の高い内分泌障害の診断と治療をテーマに、症例提示を行いました。座長の吉田崇先生をはじめ、参加の先生方よりご質問やご意見を賜り誠にありがとうございました。

免疫チェックポイント阻害薬 (ICI) による癌免疫療法は種々の進行癌において有効性が示され、治療適応が拡大しています。ICIは腫瘍に対する免疫反応を亢進させることで抗腫瘍効果を示しますが、その一方で自己に対する免疫応答の発生あるいは増悪による有害事象が知られています。免疫関連有害事象 (irAE) は全身臓器で認められ、大腸炎、肝炎、間質性肺炎、皮膚障害、神経・筋障害などが報告されており、内分泌障害も比較的高い頻度で認められます。

主なirAEの内分泌障害として、下垂体機能低下症、副腎皮質機能低下症、甲状腺機能異常症、副甲状腺機能低下症、1型糖尿病が挙げられます。下垂体機能低

下症の中では特に副腎皮質刺激ホルモン (ACTH) 分泌低下症の頻度が高く、今回提示した2症例も続発性副腎皮質機能低下症を発症しました。全身倦怠感、食思不振、嘔気などの症状を訴えられ、血中ACTH、コルチゾール濃度低値を認めました。診断が遅れると副腎クリーゼとなりうる重篤な副作用です。乳腺内分泌外科と連携して速やかにホルモン補充療法を導入しました。また、今回の症例では、同時あるいは異時性に、破壊性甲状腺炎による甲状腺中毒症とそれに引き続いて起こる甲状腺機能低下症も発症しました。はじめに十分な副腎皮質ホルモンの補充を行ったうえで、甲状腺ホルモンの補充療法を追加することが大切です。

当院では各診療科、他職種からなるチーム医療によってirAEへの対策がなされています。内分泌代謝関連irAEの鑑別診断と迅速な治療は、進行癌患者さんの生活の質の維持し、ICI投与継続の可否を判断するためにも重要であると考えています。

ICIによるirAEは全身諸臓器に認められ、発症時期も様々です。地域の先生方にご診断いただく可能性もあり、今後ますます地域連携の重要性が増すと考えられます。

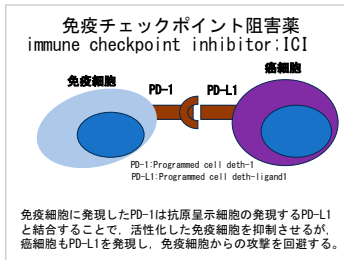


乳腺内分泌外科

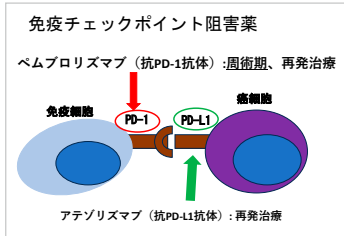


近年のがん薬物治療は従来の細胞傷害性抗癌剤に、分子標的治療薬や免疫チェックポイント阻害薬：ICI

(資料1)を組み合わせたレジメンが数多く保険承認されており、その治療効果は飛躍的に向上しています。乳癌治療においてはホルモン受容体陰性、HER2陰性、いわゆるトリプルネガティブタイプに対して、ICIを含むレジメンが適応となっています。(資料2)

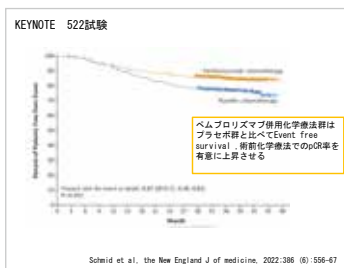


資料1

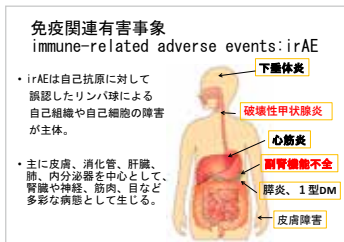


資料2

2022年以降、当科でも再発高リスクの早期トリプルネガティブ乳癌に対して周術期にICIを使用しており、その治療効果を実感しています。(資料3)しかし特有の有害事象(irAE)(資料4)が全身の臓器で起こりうるため、適切なマネジメントが必要です。



資料3



資料4

今回の地域連携症例検討会では、乳癌の治療中に副腎皮質機能低下症、甲状腺機能異常症を来した2症例を提示させていただきました。いずれも定期的な症状聴取、スクリーニング検査により、irAEを疑い内分泌代謝内科と連携し適切に治療を行っております。

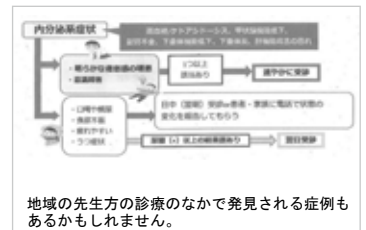
当院では2019年よりirAE対策チーム(資料5, 6)を構成し、治療担当科と連携、サポートする体制をとっています。治療効果の高い薬物を安全に投与することが大切と考えております。薬によっては投与終了後、2年経過してからirAEを認めるケースもあり、地域の先生方におかれましてもICI投与歴についてはご留意いただければと存じます。(資料7)

高崎・免疫関連有害事象(irAE)対策チーム Takasaki immune-related Adverse Event Task Force	
消化器内科部長	肝臓担当、チームリーダー
消化器内科医長	下痢、大腸炎担当
呼吸器内科部長	間質性肺炎担当
内分泌・代謝内科部長	下垂体・甲状腺・1型糖尿病担当
神経内科部長	脳炎、重症筋無力症担当
心血管内科部長	不整脈・心筋炎等、心臓疾患担当
内科系診療部長	無顆粒球症等、血液疾患担当
泌尿器科部長	泌尿器科疾患担当
眼科部長	ぶどう膜炎等、眼障害担当
歯科口腔外科医長	口腔内疾患担当
皮膚科医長	皮膚障害担当
腫瘍内科(埼玉医大)	腎臓系(第18曜AM)

資料5

高崎・免疫関連有害事象(irAE)対策チーム Takasaki immune-related Adverse Event Task Force	
がん化学療法看護認定看護師	患者サポートセンター
がん化学療法看護認定看護師	北7階病棟副部長
がん化学療法看護認定看護師	外来部長
がん薬物療法認定薬剤師	医薬品情報主任
がん薬物療法認定薬剤師	レジメン登録担当、 調剤主任
入院係(事務職)	保険審査対策、企画課入院係長

資料6



地域の先生方の診療のなかで発見される症例もあるかもしれません。

資料7

座長の労を賜りました吉田崇先生、参加いただきました先生方、ありがとうございました。



診療科紹介

消化器内科

消化器内科部長 長沼 篤



当院では2012年4月に消化器病センターが設立され、消化器内科と消化器外科の連携を密にした専門性の高い医療を提供しています。消化器内科には、現在常勤医9名と日本内科学会専攻医3名が所属しております。

当院は高崎・安中地域にお住まいの約43万人をカバーする医療圏において唯一の基幹病院であり、24時間体制で高度な救急医療を提供しています。当科ではオンコール体制を構築しており、休日・夜間においても吐血、下血、腸閉塞、胆石などの急患に対して迅速な検査・治療が可能です。また地域がん診療連携拠点病院にも指定されており、高度ながん治療も提供しています。

当科では食道、胃、大腸、肝胆膵疾患など全ての消化器疾患に対する診断・治療が可能です。毎週月曜日には消化管内視鏡カンファレンス、水曜日には消化器病センターのカンファレンス（消化器がんボード）において、患者さんの状態を複数の医師で確認して治療方針を決定しています。内科と外科で意

見交換することで医療の質を担保しています。更に毎週消化管及び肝胆膵チームでチーム別カンファレンスを行っており、全入院患者さんについて治療方針の決定や見直しを行っています。

当院では栄養サポートチームや緩和ケアチーム等の多職種で構成されるチーム医療を積極的に展開しており、看護師・薬剤師・管理栄養士・リハビリ・事務職員などと連携して、患者さんの気持ちに寄り添った質の高い医療の提供を心掛けています。

消化器内科では常に最先端の医療を提供できるように研鑽しており、国内外への学会参加、症例報告、医学論文作成を積極的に行っています。更に当科では臨床研究及び治験にも力を注いでおり、新しい治療法の開発にも取り組んでいます。

以上、当科の紹介をさせていただきました。今後とも皆様のお力添えをいただけましたら幸いです。何卒宜しくお願い申し上げます。



看護学校だより

「決意式」を終えて

高崎総合医療センター附属高崎看護学校 第53期生 石田 琥太郎

私たち53期生は、11月1日に「決意式」を行いました。決意式はこれから始まる領域別実習を前に、看護職を目指す者としての志を再確認し、さらに高める式典です。決意式を挙行できたのは、来賓の皆様、多くの病院職員の方々、学校の先生方、保護者の皆様のお力添えのおかげだと感じています。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

私たちは「看護を深める会」を基礎看護学実習Ⅱ終了後の9月に行いました。これまで学習してきたことや、育んできた看護観、患者さんとの関わり、コミュニケーション方法など、皆で意見交換を行いました。一人ひとりが看護に対する想いを強め、知識を深め、これからの学習・実習に向けた予習ができてとても貴重な時間となりました。

決意式では、高崎総合医療センターの看護部長からフローレンス・ナイチンゲールの灯火を受け継ぎました。53期生86名それぞれが灯火の光や温かさ、重みを全身に感じながら、誓いの言葉を唱和しました。私たちの誓いは、

「幅広い知識と高い技術をもって患者に安全で安楽な看護を提供すること」「傾聴し寄り添うことで信頼関係を築き、個別性のある看護を行うこと」「尊厳を守り高い倫理観をもちながら看護をすること」「専門職者としての自覚をもち質の高い看護を目指して学び続けること」の4つです。この誓いの言葉を胸に、これからも看護技術の向上や知識の増幅に精進していきたいと思えます。そして本校が毎年決めている学年の花として、私たち53期生は「デイジー」を選びました。花言葉は「希望」「平和」「幸福」「協力」です。看護の道を歩んでいく者として、今後苦難の壁に苛まれることがあっても、諦めることなく全員で乗り越えていきます。そして、これから出会う患者さん、地域の方々、我々の事を支えてくださる全ての方々に感謝し、努力し続けていきます。



デイジー
花言葉：「希望」「平和」「幸福」「協力」





リハビリテーション室 だより

早期離床・リハビリテーションについて

暑かった日々が過ぎ去り、気温の低い日々が多くなってきましたがいかがお過ごしでしょうか。冬場は心臓や脳などの循環器疾患が多くなる季節だと言われております。

皆さんは、ケガや病気・手術で入院した後のくらいでリハビリテーション（以下リハビリ）が開始されると思いますか。実のところ主治医の依頼があれば入院当日や翌日からリハビリは開始されます。

当院では、院内ICU・救命センターにおいて毎朝カンファレンスを行い、主治医・集中治療医・看護師・コメディカルで病状・全身状態の確認を行い、治療介入や早期離床・リハビリに関しての話し合いをし、適切な治療介入に日々努めております。

以前は、病気になったらベッド上で安静にして、状態が良くなったらリハビリをしましょう。といった事もありましたが、最近では過度な安静が肺炎など合併症の発生リスクの上昇や、その後の身体機能の改善に不利益が生じるということが知られるようになりました。

当院では人工呼吸器や治療に必要な管が体に挿入された状態でも、患者さんの状況に合

わせて、早期から座位訓練や起立訓練・歩行訓練などを行い積極的にベッドから離れられるように支援を行っています。多職種が関わる早期離床の利点としては、リハビリスタッフのリハ時間だけでなく、生活の中で離床時間を適切に確保し自立に向けた支援が行える事です。最初は意識状態も悪く自分では思うように身体を動かさず寝たきりに近い状態だった患者さんが、自力で立てたり歩けたりするまでに回復していく様子を目にすることが多くあります。

また、当院では経験豊富な医師をはじめ患者さんの立場に立った看護を提供する看護師、患者さんに合わせた薬剤管理をする薬剤師や、人工呼吸器などの医療機器の管理をする臨床工学技士、活動量に合わせた栄養管理をする栄養士など、コメディカルがそれぞれの強みを活かしてサポートを行っています。

入院前の説明の際は、手術後の離床に関する話を聞くと不安になる方も多いかと思いますが、患者さんの社会復帰に向けて全力でサポートを行っていただけるように今後も努力してまいります。どうぞよろしくおねがいします。



第 83 回
臨床検査科だより



培養検査とは

今回は培養検査についてです。

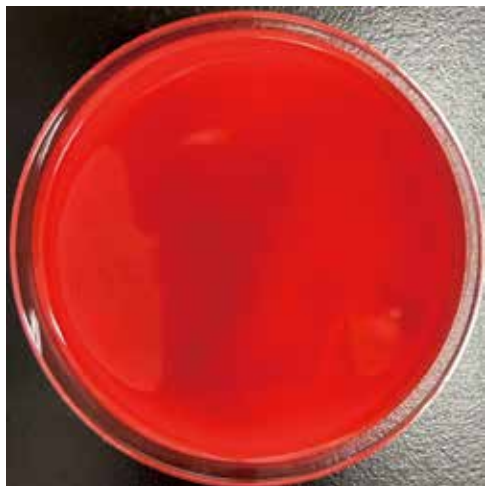
培養検査とは、患者さんから提出された検体（喀痰、尿、便など）の中の、病気の原因となっている細菌・真菌（病原体）の有無や種類を調べるための検査です。

検査には培地を使用します。培地には細菌が発育するのに必要な栄養成分を含んだ液体のものと、それに寒天などを加え固めたものがあります。

検体を培地に塗布し、35～37℃の孵卵器に一昼夜培養します。培養された菌は集落（コロニー）と呼ばれる目で見えるほどの固まりになります。コロニーの形が特徴的な菌種であればこの段階で菌の種類を推定することが可能です。必要に応じてさらに他の検査を追加し、菌の特定や治療方針の決定に役立てます。

菌によって増殖する速さが違う為、検査には数日から数週間かかるものもあります。

細菌検査室では、少しでも結果を早くお伝えできるように努力しています。



血液寒天培地

血液寒天培地は、栄養要求条件が厳しい細菌の培養やコロニーの溶血性を調べる為に用いられます。ヒツジ・ウサギ・ウマなどの血液が入っています。

写真は培養前の血液寒天培地です。



培養後の血液寒天培地

写真は喀痰を血液寒天培地に培養し、確認されたコロニーです。大きく白いコロニーが検出された黄色ブドウ球菌です。健常人の手指や鼻腔にも存在しますが、敗血症や髄膜炎等の重症感染症の原因菌でもあります。

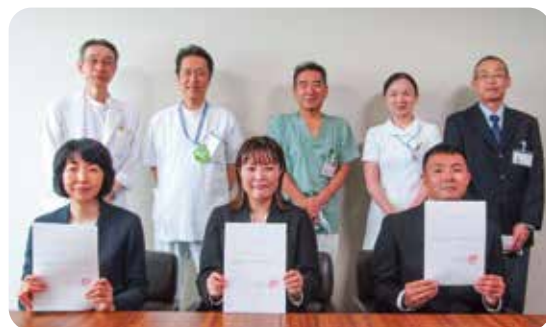
特定行為研修について/ リレー・フォー・ライフ・ジャパン2024ぐんま

庶務班長 飯塚 康博

看護師特定行為研修 -2023年修了から2024年入講-



2023年入講者 特定行為研修修了式の様子



2024年入講者 特定行為研修入講式の様子

2023年10月に入講した特定行為研修生1名が専門技術を身につけ、2024年9月に無事に研修を修了いたしました。

また、2024年10月1日より新たな研修生3人が入講し新たな研修がスタートをいたしました。

当院の看護師特定行為研修は、病院理念「患者さんから信頼される病院を目指します」の精神に基づき、高度急性期医療及び地域包括ケア医療の現場において、専門性の高い医療技術を身につけた看護師を育成し、地域における看護力の向上を目指し、看護師特定行為研修の教育医療機関として実施しております。

当院では、看護師特定行為を実施する上で必要となる学習環境を整え、十分な知識と医療技術を研修生に教授し、地域へ輩出していけるよう努めてまいりますので、今後ともご支援のほど、よろしくお願いいたします。

『リレー・フォー・ライフ・ジャパン2024ぐんま』 に参加してまいりました

リレー・フォー・ライフは「がん患者さんとその家族を支援し、地域社会全体でがんに向き合う活動」です。会場ではチームの仲間とタスキをつなぎ、チームフラッグを掲げ歩きます。夜を越えて歩き、チームの仲間や参加者同士で朝をむかえる、夜通しのイベントです。

高崎総合医療センターでも多くの仲間と一緒に参加し、24時間病気と向き合っている患者さんご本人・ご家族を想いながらその気持ちになり、がん撲滅のため精一杯努めていくことを誓い、朝までタスキをつないでまいりました。

今後もがん撲滅を目指し、最良の医療を提供し続け、患者さんをご家族とともに支えてまいります。



病院エントランス のご案内

患者サポートセンター副センター長 鈴木 伸代

案内係員

私たちがご案内いたします



久保田保安員



光山看護師
(卒業生15期)



根岸看護師
(卒業生15期)

当院は「患者さんから信頼される病院を目指します」を理念のもと医療・看護の提供に日々奮闘しております。「患者さんから信頼される病院」とは、腕の良い医師並びスタッフがいます？機能性の高い医療機器がそろっている？高い診療実績？当院を訪れた時の印象・接遇の良さ？これらすべて揃っていれば理想的と言えるでしょう。

不安を抱え受診される患者さん、ご家族の方が一番最初に訪れる場所が「病院玄関（以下エントランス）」です。病院エントランスほど「目配り・気配り・心配り」のできるホスピタリティの高い、相手の望むサービスを提供できる人の

配置が重要と考えています。

院内の「案内・感染対策」はもちろん「安全・緊急対応」にも注意を払っています。体調が悪くエントランスで救急対応が必要になる方、老老介護で車いすを使用される方等には看護師が対応できるよう1名配置、院内の治安を担当する保安員も午前中はエントランスに待機しています。双方ホスピタリティが発揮され質の高いサービスの提供ができるスタッフです。エントランスでの見守りの中、無事受診が済んでお帰りになる時には笑顔でエントランスを後にして頂きますよう私たちは立ち続けております。

クリニック検索



近隣の
クリニックを
検索することが
出来ます

車椅子の
利用方法を
掲示しています



車椅子案内

医師紹介

当センターの医師を紹介します。



整形外科

もてき ともひこ
茂木 智彦

2024年4月より赴任いたしました。茂木智彦と申します。群馬大学整形外科に所属し済生会前橋病院、深谷赤十字病院を始めとした病院で勤務し、主に外傷や手外科領域の研修を受けてまいりました。当院は三次救急病院で外傷患者様が多く、そちらに注力する日々を送っています。ただその中でも、手外科領域の変性疾患の治療にも携わっていきたいと考えております。主に手根管症候群、肘部管症候群に対する神経剥離術やばね指を含む腱鞘炎に対する手術、またヘバーデン結節に対する固定手術など、今まで培った経験や知識を活かして一生懸命に診療に当たっていきたいと思っております。

私は高崎市出身で18歳まで高崎で過ごしておりました。高校生の時は自転車で当院の前の道を通って通学していたことをよく覚えております。当時は国立高崎病院という名前だったと思われませんが、将来そこで働くななんて想像もしておりませんでした。自分を育ててくれた高崎で患者様やそのご家族、地域の医療機関の皆様のお役に立てるよう努力して参りたいと思います。



産婦人科

あずま あんり
東 杏莉

はじめまして、高崎総合医療センター産婦人科に勤務させていただいております、東杏莉と申します。早いもので当院に赴任し3年目となりました。2018年に一度赴任後、群馬県立がんセンター、群馬大学医学部附属病院の婦人科腫瘍班にて修行した後、2022年4月1日より当院へ再赴任いたしました。当院にて、癌の治療の他、周産期医療や女性医学領域まで幅広く診療を行っておりますが、日々勉強の毎日です。また、2024年2月からはロボット支援下手術も携わらせていただいております。引き続き、伊藤先生、青木先生を始め、他先生方と力を合わせ、産婦人科という女性の一生に関わる分野で、地域の先生方・患者様のお役に立てるよう日々精進してまいります。どうぞよろしく願いいたします。

地域医療連携登録医のご紹介

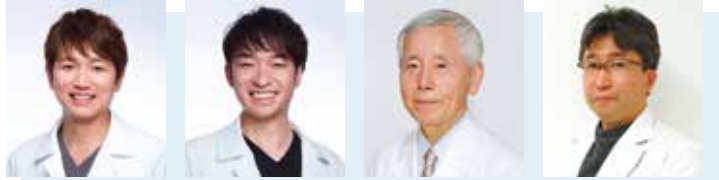
地域医療連携登録医の皆さまとパートナーシップを組んで診療に取り組んでいます。

医療法人 吉井中央診療所

院長あいさつ

当院の診療につきましては、日頃より地域の皆様、先生方には絶大なご理解ご支援をいただき、心より御礼申し上げます。

今後も常に皆様の傍らに寄り添う“かかりつけ医”として地域の医療はもとより、保健・福祉の向上にお役に立てるよう取り組んでいく所存でございますので、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。



江原院長 永井副院長 功刀医師 牧元医師

診療科・病院案内

眼科・内科・リハビリテーション科

【眼科】診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(8:30~11:30)	●	●	●	●	●	●	△
午後(14:30~17:30)	●	●	休 (手術日)	●	●	△	△
【内科】診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(8:30~11:30)	●	●	●	●	●	●	△
午後(14:40~17:30)	●	●	●	●	●	△	△

※入院11床(一般11床) また、在宅療養支援診療所として看護職員が常勤し、24時間対応できる体制を整えています。

群馬県高崎市吉井町吉井415-1 TEL:027-387-5889
http://www.yoshiicc.or.jp/

昭和51年創立以来家庭医機能を持った全人的医療をモットーにプライマリーケアからターミナルケアまで全ての分野をカバーして参りました。また、平成9年から、介護老人保健施設を併設し、高齢になっても地域で安心して暮らせるよう支援するべく取り組んでおります。

戸所小児科医院

院長あいさつ

昭和52年の開業以来、子供達の診療や健診・予防接種を行ってきました。最近では少子化・核家族化が進み子育てに悩む親御さんも多いと思います。子育ての悩みなどお気軽にご相談ください。子供達が元気に過ごせ、保護者の皆様が安心して子育てできますように少しでも力になっていきたいと思っています。



戸所小児科医院
院長
戸所 誠

診療科・病院案内

小児科・アレルギー科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
8:00~12:00 受付11:50まで	●	●	●	●	●	●	△
14:40~15:30	予防 接種	予防 接種	予防 接種	△	△	△	△
15:30~18:00 受付17:50まで	●	●	●	△	●	△	△

*健康診断・予防接種外来は事前予約をお願い致します。

群馬県前橋市総社町2-8-9 TEL:027-253-2351

1. 地域医療に貢献し、子供たちと密接なかかわりをもつ。
2. 乳児健診・予防接種等を充実させ、予防医療に最大限の努力を図る。
3. 昨今増えつつあるアレルギー疾患の早期介入・早期治療に努める。

セカンドオピニオンのご案内

当センターではセカンドオピニオン外来を実施しております。
概要につきましては以下のとおりです。

01 対象患者さん

- 現在当センター以外の医療機関で診療を受けている患者さん、ご家族
- 現在の主治医（他医療機関）の診断及び治療方針について、当センター医師に参考意見を求め、患者さんご本人が自らの疾患をより理解し適切な診療を選択する等の為に、セカンドオピニオン外来の活用を望む方
- 主治医（他医療機関）からセカンドオピニオンを目的とした紹介状及びフィルム等の検査資料を当院に提供可能な患者さん、ご家族であることを要します（主治医にセカンドオピニオンを受けるための紹介状等をお願いすれば対応してもらえます）
- 相談者をご家族の場合は、原則として患者さんの同意を得た場合といたします

02 実施診療科 **【各科の専門医が対応いたします】**

内科、精神科、呼吸器内科、消化器内科、心臓血管内科、
小児科、外科、乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、
脳神経外科、呼吸器外科、産婦人科、泌尿器科、
眼科、放射線診断科、放射線治療科、歯科口腔外科



予約方法

完全予約制 代表電話：027-322-5901

※代表にお電話を頂き、『セカンドオピニオン係』とお申し付け下さい

【受付時間】 月曜～金曜 8時30分～17時の間

※精神科の受付時間は **月曜～金曜 8時30分～12時迄** となります

※事前にご予約電話を受け付け、担当専門医と日程調整を行った後に折り返し
当センターより連絡させていただきます

外来時間

セカンドオピニオン外来時間（診療科によって曜日は異なります）

月曜～金曜 13時30分から15時30分の間で調整

費用

30分以内 5,500円（消費税込み）

30分以上 11,000円（消費税込み）

セカンドオピニオンとは

セカンドオピニオンとは現在の自分の病状や治療方針について他の医師の意見を求めることをいいます。

医療が進歩してさまざまな治療法が生まれています。

その結果、医師によって病気に対する考え方が違うことや、病院によって医療技術や診療の質に差があることも考えられます。治療法について具体的な比較ができ、より適した治療法を患者さん自身が選択することができます。

当センターでは、よりよい治療法を患者さん自身が選択できるように、セカンドオピニオンを積極的にお勧めしております。

セカンドオピニオン 外来担当表

科名	医師名	専門	曜日
内科	佐藤 正通	内科全般、血液内科	火
呼吸器内科	中川 純一	呼吸器全般	火、金
消化器内科	長沼 篤	消化器病一般、肝臓病	随時
	増田 智之	食道、胃、大腸	
心臓血管内科	広井 知歳	狭心症・心筋梗塞の治療（カテーテル治療）	金
	太田 昌樹	不整脈一般	水
	福田 延昭	心不全、弁膜症	木
小児科	五十嵐 恒雄	小児科全般・未熟児・新生児	水
外科	坂元 一郎	消化器外科全般	水
	家田 敬輔	上部消化管	水
	平井 圭太郎	肝臓、胆のう、膵臓	水
	宮前 洋平	下部消化管	水
乳腺・内分泌外科	鯉淵 幸生	乳がん全般・甲状腺外科	随時
	高他 大輔	乳がん全般・甲状腺外科	随時
心臓血管外科	小谷野 哲也	心臓血管の外科治療	火、木、金
呼吸器外科	伊部 崇史	肺がん、縦郭腫瘍、呼吸器外科全般	木
	高坂 貴行	肺がん、縦郭腫瘍、呼吸器外科全般	火
脳神経外科	田中 志岳	脳腫瘍	月
	笹口 修男	水頭症、脳外科一般	木
	佐藤 晃之	血管障害	金
産婦人科	伊藤 郁朗	婦人科腫瘍	月、火、金
泌尿器科	柴田 康博	泌尿器科全般	火
眼科	土屋 明	眼科全般（眼腫瘍を除く）	水、木
放射線診断科	根岸 幾	画像診断CT・MR中心	木
	佐藤 洋一	画像診断CT・MR中心	火
放射線治療科	永島 潤	悪性疾患の放射線治療	
歯科口腔外科	稲川 元明	口腔顔面痛	火、水、木、金
	柴野 正康	口腔外科全般、顎変形症、インプラント	月、火、木、金

外来診療担当表

当センターは、地域医療支援病院として運営しております。
かかりつけ医の先生からの紹介状をご持参願います。

	月	火	水	木	金
総合診療科・内科	佐藤 正 通	佐藤 正 通 <small>予約のみ</small>	佐藤 正 通 <small>午後</small>	佐藤 正 通 <small>午後</small>	佐藤 正 通
栄養食事指導外来		植原 大 介 <small>午後</small>	(田村 耕 成) <small>予約のみ</small>	(合田 史) <small>午後</small>	
腎臓・膠原病リウマチ内科	<交代制> <small>午前</small>	荒木 祐 樹 <small>午後</small>	渡辺 光 治 <small>午前</small>	荒木 祐 樹 <small>午後</small>	中里見 征 央 <small>午前</small>
血液内科	(三井 健 揮) <small>午後</small>				
内分泌代謝内科	渋沢 信 行	岡田 研 也 <small>午前</small>	植原 良 太 <small>午前</small>	渋沢 信 行 <small>午後</small>	渋沢 信 行 <small>午後</small>
脳神経内科	清水 千 聖 <small>午前</small>	平柳 公 利	唐澤 将 紀 <small>午後</small>	柴田 真	今泉 純
呼吸器内科	井上 俊 <small>午前</small>	細野 達 也 <small>午前</small>	小林 頂 <small>午前</small>	中川 純 一 <small>午前</small>	細野 達 也 <small>午後</small>
消化器内科	長沼 篤 篤 <small>午前</small>	星野 崇 <small>午前</small>	柿崎 暁 <small>午前</small>	長沼 篤 篤 <small>午前</small>	星野 崇 <small>午前</small>
	安岡 秀 敏 <small>午前</small>	鈴木 悠 平 <small>午前</small>	安岡 秀 敏 <small>午前</small>	増田 智 之 <small>午前</small>	佐野 希 望 <small>午前</small>
	上原 早 苗 <small>午前</small>	佐野 希 望 <small>午前</small>	増田 智 之 <small>午前</small>	鈴木 悠 平 <small>午前</small>	書上 愛 <small>午前</small>
	成清 弘 明 <small>午前</small>	成清 弘 明 <small>午前</small>	井戸 健 太 <small>午前</small>	小林 倫太郎 <small>午前</small>	小林 倫太郎 <small>紹介のみ</small>
	石原 弘 <small>午後</small>		石原 弘 <small>午後</small>		
上部内視鏡検査	星野 / 増田 / 書上	安岡 / 増田 / 小林	上原 / 佐野 / 成清	上原 / 佐野 / 成清	長沼 / 鈴木 / 井戸
心臓血管内科 (午前)	太田 昌 樹	高橋 伸 弥	広井 知 歳	福田 延 昭	小林 紘 生
新患外来(午前)	村田 智 行	大駒 直 也	羽鳥 直 樹	羽鳥 直 樹	柴田 悟
不整脈外来(午後)	高橋 伸 弥	柴田 悟	村田 智 行	羽鳥 直 樹	大駒 直 也
心不全総合外来(午後)	太田 昌 樹	太田 昌 樹	太田 昌 樹	太田 昌 樹	小林 紘 生
ペースメーカー外来(午後)		高橋 伸 弥			太田 昌 樹 <small>第2,4週</small>
精神科	山崎 雄 高 <small>午前</small>	山崎 雄 高 <small>午前</small>	山崎 雄 高 <small>午前</small>	山崎 雄 高 <small>午前</small>	山崎 雄 高 <small>午前</small>
小児科	五十嵐 恒 雄 <small>午前</small>	五十嵐 恒 雄 <small>午後</small>	五十嵐 恒 雄 <small>午前</small>	小笠原 聡 <small>午後</small>	五十嵐 恒 雄 <small>午後</small>
	内田 亨 <small>午後</small>	倉田 加奈子 <small>午前</small>	倉田 加奈子 <small>午後</small>	倉田 加奈子 <small>午前</small>	小笠原 聡 <small>午前</small>
	小川 百花 <small>午後</small>	斎藤 淑 人 <small>午後</small>	佐藤 幸 一 郎 <small>午後</small>	植原 実 紅 <small>午後</small>	佐藤 幸 一 郎 <small>午後</small>
	加藤 裕 之 <small>第2,4週</small>	(神尾 綾 乃) <small>第1,2,3,5週</small>	(滝沢 琢 己) <small>第2,4週</small>	(西澤 拓 哉) <small>午後</small>	坂本 康 大 <small>第3週</small>
小児外科	(西明・高澤慎也) <small>第1,3週</small>	(西明・高澤慎也) <small>第4週</small>			浅見 雄 司 <small>第3週</small>
外科 (消化器)	坂元 一 郎 <small>午前</small>	小川 哲 史 <small>午前</small>	家田 敬 輔 <small>午前</small>	平井 圭 太 郎 <small>午前</small>	宮前 洋 平 <small>午前</small>
栄養サポート外来	齋藤 秀 幸 <small>午後</small>	真木 茂 雄 <small>午後</small>	生方 泰 成 <small>午後</small>		栗山 令 <small>午後</small>
禁煙外来		小川 哲 史 <small>午前</small>			
ストーマ外来		小川 哲 史 <small>午後</small>	第2,4週午後・予約	予約	

※2024年10月1日より「神経内科」は「脳神経内科」に名称が変更となりました。

01 外来診療受付時間 8:30~11:00まで (予約の場合は最終予約時間まで) ※再来受付機は8:00から受付しています

- 紹介状をお持ちの方、紹介事前予約の方は、1番：紹介状をお持ちの方・地域医療連携窓口で受け付けております。
- 当センター受診にはかかりつけ医の先生からの紹介状をご持参ください。紹介状をお持ちでない方は、診察をお受けできない場合や、長時間お待ちいただく場合がございます。
- 精神科の初診の患者さんは完全予約制となります。精神科外来までご連絡をいただき、来院日のご予約をお願いいたします。
- 受診時にはお薬手帳、薬剤情報提供書または飲んでいるお薬をご持参ください。

02 休診日 土、日、祝日、年末年始

- 学会等により、休診または医師が交替する場合があります。院内掲示もしくはホームページをご覧ください。

地域医療支援・
連携センターから
地域の先生へお願い

当センターへの紹介の際は、
地域医療支援・連携センターを通した
事前予約にご協力下さい。

()の医師は非常勤です。

令和6年11月11日現在

	月	火	水	木	金
泌尿器科	井上雅晴 栗原聰太 <small>午前</small>	柴田康博 栗原聰太	交代制	柴田康博 井上雅晴 <small>午前：通常 / 午後：不妊外来</small>	交代制
疼痛緩和内科 看護外来	田中俊行 <small>午前・午後</small>	田中俊行 <small>午前・午後</small>	田中俊行 <small>午前・午後</small>	田中俊行 <small>午前・午後</small>	田中俊行 <small>午前・午後</small>
乳腺・内分泌外科	鯉淵幸生 成澤瑛理子 本田周子 <small>午前</small> <手術日>	鯉淵幸生 高他大輔 成澤瑛理子 本田周子 <small>午前</small>	鯉淵幸生 高他大輔 本田周子	(荻野美里) (青木麻由) 交代制 <small>第2,4週午後・予約 第1,3,5週午後・予約</small> <手術日>	高他大輔 成澤瑛理子 本田周子 <small>第2,4午前 第1,3,5週午前</small> <手術日>
心臓血管外科	<手術日>	交代制 <small>午後</small>	<手術日>	小谷野哲也 羽鳥恭平 <small>午前</small>	茂原淳 <small>午前</small>
呼吸器外科	<手術日>	伊部崇史 高坂貴行 牛久保陸生 <small>第1,3週午前 / 第5週午前・午後 第2,4週</small>	<手術日>	伊部崇史 高坂貴行 牛久保陸生 <small>午前 午後</small>	<手術日>
整形外科 骨粗鬆症外来	荒毅 信太晃祐 茂木智彦	大澤敏久 大島淳文 保科大地	荒毅 信太晃祐 一ノ瀬剛 保科大地	新井厚 茂木智彦 <手術日>	大澤敏久 一ノ瀬剛 大島淳文
形成外科	交代制 <手術日>	中村英玄 山田有実 <small>午後</small>	中村英玄 山田有実 <small>第1,5週午前 / 第2,3,4週午後 第2,3,4週午前 / 第1,5週午後</small>	<手術日> 山田有実 <small>午前</small>	中村英玄 <手術日> <small>午前 午後</small>
脳神経外科	田中志岳	齋藤貴寛	<手術日>	笹口修男	佐藤晃之
皮膚科	交代制 <small>午前</small>	岡田悦子 伊藤加奈 <small>午前</small>	岡田悦子 太田円莉 <small>午前</small>	伊藤加奈 (井上千鶴) <small>午前</small>	岡田悦子 太田円莉 <small>午前</small>
産婦人科 遺伝性腫瘍外来	伊藤郁朗 黒住未央 東杏莉	青木宏 黒住未央 宇津木秀勅	<産後健診> (井上直紀) <small>午前</small>	小田洋樹 (金井眞理) <small>午前</small>	伊藤郁朗 青木宏 東杏莉
眼科	土屋明 <small>紹介・予約</small>	土屋明	土屋明	土屋明	土屋明
眼形成眼窩外科	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎
耳鼻咽喉科頭頸部外科	高橋克昌 岡宮智史	岡宮智史	<手術日>	高橋克昌	高橋克昌 岡宮智史 <small>午前</small>
放射線治療科	永島潤 弓崎晃	永島潤 弓崎晃	永島潤 弓崎晃 (堀込瑛介) <small>午前</small>	永島潤 弓崎晃	永島潤 弓崎晃 (富澤建斗) <small>午前</small>
歯科口腔外科 新患外来	柴野正康 田中斉 田中斉	<手術日>	柴野正康 田中斉 柴野正康	柴野正康 田中斉 田中斉 <small>午後 午前</small>	<手術日>
歯科(歯科麻酔) 摂食嚥下・口腔ケア外来	稲川元明 <small>第1,3,5週のみ</small> (倉持真理子)	稲川元明 (倉持真理子) (荒井亮・辻野啓一郎) <small>第2,4週のみ</small>	稲川元明 (倉持真理子)	稲川元明	稲川元明 (倉持真理子)

※2024年10月1日より「耳鼻いんこう科」は「耳鼻咽喉科頭頸部外科」に名称が変更となりました。

03 予約について

当院は「医療機関からの紹介患者事前予約制」をとらせていただいております。

医療機関様にはお手数をおかけしますが、予約の際には「事前予約申込書」に必要事項を記載し、地域医療支援・連携センターへFAXにてご依頼ください。折り返しお電話で予約日時の連絡をさせていただきます。

※分娩希望についてはこの限りではありません。

※心臓血管内科は平日8:30~11:00までに紹介状を持参のうえ来院していただけますと当日受診が可能です。

※消化器内科で早めの対応が必要な患者さんは平日11:00~15:00までに紹介状を持参のうえ来院していただければ対応させていただきます。(予定での紹介が可能な患者さんは地域医療支援・連携センターを通しての予約をお願いします。)

04 連絡先

高崎総合医療センター内 地域医療支援・連携センター

医療機関専用ダイヤル: 027-322-5835 《平日 8:30~18:30 / 土曜日 8:30~17:15》
FAX: 027-322-5925 《FAXは24時間受け付けています。お返事は翌営業日になります》

院長閑話

vol.42

日本一！ 夢か現か幻か



院長 小川 哲史

横浜 DeNA ベイスターズが大方の予想に反して日本シリーズを制して日本一になりました。セリーグ 3 位から阪神、巨人を倒して、何よりあのソフトバンクを破っての栄冠です。まさに世紀の下剋上、奇跡の大逆転でした。

私が小学生の頃、夜の娯楽はテレビくらいしかなく、プロ野球中継は巨人戦のみでした。巨人の V9 時代 (1965 ~ 1973 年) でしたので、1960 年生まれの私の小学校時代、優勝したのは巨人だけです。世の中、大人も子供も巨人ファンばかりで、好きなものとは聞かれば「巨人、大鵬、卵焼き」。そんな時代、私の父は大のアンチ巨人だったため幼い私もアンチ巨人となりました。学校では巨人ファンに囲まれ、巨人が勝った翌日はひたすら沈黙。巨人栄光の V9 時代は、アンチ巨人にとっては悔しさと孤独に耐えるしかない、まさに暗黒の時代でした。

そんな小学生時代の私のヒーローは、巨人キラー、大洋ホエールズのエース、カミソリシュートの平松政次投手です。その胸元をえぐるカミソリシュートでミスタージャイアンツ長嶋から三振を取る甘いマスクの熱血ヒーロー、正義の味方でした。それ以来、今日に至るまで大洋、横浜、DeNA のファンを地道に (意地になって?) 続けています。

横浜が日本一になったのは 1998 年と大洋時代の 1960 年の 2 回のみです。1998 年は権藤博監督が「全体ミーティングをしない」「送りバントをしない」など放任主義とまで言われた独特の流儀でチームを率い、大魔神佐々木、マシンガン打線を有して 38 年ぶりのリーグ優勝して日本一を果たしました。しばらくの間は安泰だろうと思っていましたが、残念ながらその後は急速に弱体化し、驚くほどの低迷ぶりです。特に 2002 年から 15 年までは 5 年連続を含む最下位が 10 回という最悪の時代でした。その間、西武で黄金時代を築いた森祇晶監督など名将も呼びましたが、「考える野球、緻密な野球」を目指した監督の時ほど、悲惨な結果となりました。

さて、2013 年発行の「4522 敗の記憶：ホエールズ&ベイスターズ涙の球団史」という本があります。著者は 1975 年生まれで幼少期からの大洋・横浜の熱狂的なファンでノンフィクション作家の村瀬秀信氏です。スポーツクラブの歴史本と言えばふつうは「栄光の…」とかになるでしょうが、この本は「涙の球団史」です。さらに本の帯には「12 球団最多 4522 敗、5 年連続最下位。でも、応援するんだよ!!! “98 年の奇跡” から一転、泥沼にはまった最弱球団が、云々…」私の半世紀以上に及ぶ苦渋のファン心理、精神史と重なります。「でも、応援するんだよ!」この気持ち、痛いほどわかりますね。今の若き横浜 DeNA ファンにもおすすめの本、いや必読書だと思います。

今回の快挙は一朝一夕にできたわけではなく、10 年に及ぶ努力の結晶です。2012 年に親会社が DeNA に代わり、DeNA の創業者である南場智子氏が 2015 年にプロ野球史上初の女性オーナーに就任しました。南場氏は 1962 年生まれ、大学を卒業後、マッキンゼーに入社し、その後、ハーバード大学で MBA を取得したエリートです。何よりもチームの選手と職員、そしてファンを含めたベイスターズが大好きな、明るくポジティブなオーナーです。就任会見で「ファンみなさんに楽しんでいただける球団にしたい」と話し、球場の観客席やトイレの改修、様々なイベントの開催などアイデアを凝らした工夫をして、閉古鳥が鳴いていた球団を球界有数の人気球団に変貌させました。南場氏の最も素晴らしいところは「金と顔は出すが、口は出さない」ことです。頻回に試合を観戦し、優勝時にはビールかけにも参加、なんと選手の応援歌はすべて歌えるそうで、今回の日本一になった時のインタビューでも「選手たちがとても誇らしかった。生きてよかった。ファンの皆さんに恩返しができるかな」なかなか言えないですね。さすが、みんなに愛されているオーナーです。「金は出すが口も出す」パリーグの某オーナーや、「たかが選手が」と言い放った野球界重鎮とは違いますね。

このオーナーがいる限り、「これからベイスターズは本気で優勝を狙える常勝球団になるかもしれない。暗黒の時代とは永遠におさらばだ!」などと、負け犬根性のしみついた私でもつつい期待 (妄想?) してしまうほどの、DeNA のポストシーズンの奇跡的な快挙でした。

(11月15日)

Information

行事などのお知らせ

第51回地域連携症例検討会

心臓血管内科・心臓血管外科領域疾患の診断と治療の連携

日時：2024年12月17日(火)
18:45~20:00

演者：高崎総合医療センター

心臓血管内科部長 福田 延昭 他

心臓血管外科部長 小谷野 哲也 他

対象：医療従事者

高崎総合医療センターよりWEB配信

※申し込み必要

第145回カンサーボード

日時：2024年12月26日(休)
18:00~

診療科：疼痛緩和内科

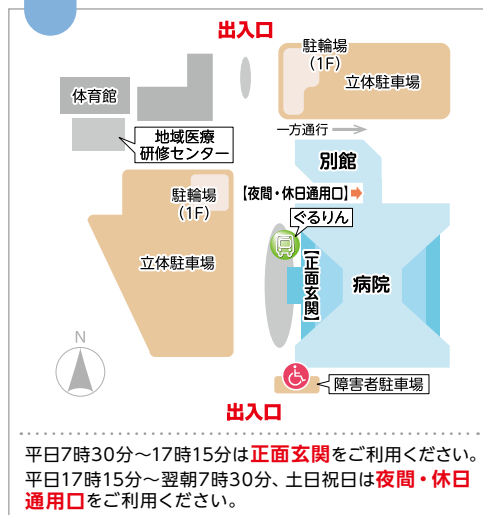
会場：高崎総合医療センター

講堂

対象：医療従事者

※申し込み不要

高崎総合医療センター案内図



登録医の先生方からのご寄稿・ご意見をお待ちしております。地域医療支援・連携センターまでご連絡をお願い致します。

電話 027-322-5835 (医療機関専用ダイヤル)

ホームページより本冊子のバックナンバーをご覧頂けます

<https://takasaki.hosp.go.jp/kouhoubackno.html>

検索



Facebook



Instagram



独立行政法人国立病院機構

高崎総合医療センター